

NEWS LETTER 66

VOL. TAKE FREE

2016

News Letter

vol.66

2016年5月5日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

学生有志によるグループが『東京プロジェクションマッピングアワードVol.0』に出展

Student! 解体新書!
澤田千春さん

NEWS LETTER 編集委員おすすめ!
新宿御苑さんぽ

Teachers at Work!
田島悠史 講師

新連載!!
『はらべこ新宿食い道楽』第一話

HOT TOPICS

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に
近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に
近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に
近い。



各沿線
新宿駅から
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1

現場で生きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2

+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3

きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

OPEN CAMPUS 2016 SCHEDULE

5/29日 6/19日 [時間] 13:00 ▶ 16:00
夏のオープンキャンパス
7/24日 7/30土 8/10水 8/28日 [時間] 10:00 ▶ 15:00
公開授業 7/18月・祝 [時間] 10:00 ▶ 16:00
進学相談会 10/1土 11/26土 2017 1/28土 2/18土 [時間] 13:00 ▶ 16:00



ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約3分
- 地下鉄丸の内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分



学生有志によるグループが「東京プロジェクトマッピングアワード Vol.0」に出展



宝塚大学東京メディア芸術学部の学生有志によるグループが2016年3月26日(土)に東京ビックサイトで開催された「東京プロジェクトマッピングアワード Vol.0」に作品を出展しました。

学生有志グループは渡邊哲意准教授指導のもとマンガ・アニメーション・イラストレーション・ゲーム・映像・コンテンツデザインの学部全領域から1年生を中心に4年生までの学生が参加し、東京ビックサイト会議棟に投影する約3分の映像を制作しました。

制作した映像には宝塚造形芸術大学(現宝塚大学)短期大学部卒業生でもあるピアニスト仲野友恵さんの楽曲が使用されるなど、在学生・卒業生によるオール宝塚生の作品となります。

作品名…未来を描くステンドグラス
チーム名…デザイン工房

代表者…成瀬由唯
メンバー…小田睦、佐藤みゆう、白川佐知、加藤晃、澤田二葉、増田結衣、澤田千春、有馬ゆずか、河野真美、森下優香、五十嵐美佐、高橋瑞希、生川喜美恵

Naruse Director's Interview

今回のプロジェクトのお話は、コンテンツデザイン領域の渡邊先生からいただきました。先生からは「成瀬、ディレクターね」と言われ、いい機会だと思っ

て挑戦しました。東京ビックサイトで開催されるイベントで、他の大学含めて9チームが参加するものでした。デザインや美術関係が強い大学が

出展することは前からわかっていたので、宝塚大学らしいコンテンツを考えることに苦労しました。他校は3DCGを全面に押し出してくる

思っていたので、私たちはイラスト、漫画を全面に出した企画をみんなで作りました。宝塚大学は領域もイラストレーション、マンガ、ゲームと多岐に渡る

ので、さまざまな領域の学生とコラボレーションして制作に取り掛かりました。制作は全部で13人ほど。当時1年生が主体とな

って企画しましたが、先輩たちにもコンテンツのストーリーづくりを教わったり、来場者に外国の方も来ると予想して、英訳をお願いしたりと、すごく手伝っていただきました。映像は3分間ぐらいのもの、YouTubeでも視聴できますので、ぜひご覧ください。



Director

成瀬 由唯
Naruse Yui

埼玉県入間市出身
2014年 埼玉県立芸術総合高等学校 卒業
現在コンテンツデザイン領域2年生
今回制作においてディレクターを務めた。昭和好き。

ッを作り上げたことに、終わった後、とても達成感を感じることができました。プロジェクトを

クシオンマッピングは光を使う映像ですから、光で表現するアートのステンドグラスをイメージして、マンガもイラストレーションも統一感を持たせました。PCで何度も完成した映像を見ていましたが、現場で来場者と大きな映像を見るのは感動の大きさが違いました。

SNSでも宝塚大学の映像は反響があって、審査員の方からも他校と違う特色があったと評価してもらえて自信につながっています。

Projection Mapping



ビックサイト前には多くの人で賑わっていました。

当日、会場にて審査員向けにプレゼンテーションを行う成瀬さん。



Presentation

Student! 解体新書!

東京メディア芸術学部在学中の学生に突撃取材する企画!
学生のリアルな生活、好きなもの、こと、持ち物まで赤裸々に公開します!

澤田千春

1994年生まれ。千葉生まれ東京育ち。
都立深沢高等学校卒業
コンテンツデザイン領域4年生。
趣味:絵を描くこと、ダンス
好きなもの:オムライス、甘いもの、
賑やかな場所
嫌いなもの:辛い、苦いもの全般



↑バットマンのリュックサック。
通学はいつもこれ。



↑ペンケース。ヴィレッジヴァンガードで一目惚れ購入。



↑猫ケース。元彼のお母さんにもらったもの。USB、リップ、目薬が入っている。猫の名前はサスケ。



↑白い手袋。アーケードゲーム「maimai」をやるために持っている。



↑おそ松さんのコスプレ用に買ったフェルト。



↑ヴィレッジヴァンガードで買ったスケジュール帳。



→コスメポーチ。コスメ用品がパンパンに入っている。



↑ニット帽子。ファッションは原色で暖色のものが多い。



↑お父さんにもらった財布。お父さんがつかっていたからさうとう年季が入っている。



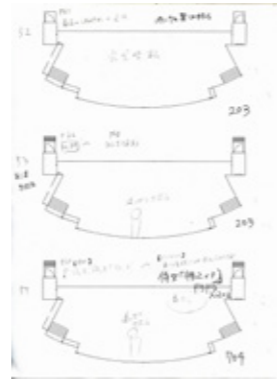
↑→100円均一で買ったスケッチブック。ここに絵をたくさん猫いている。

→ちよる松のポーチ。水スプレーと新入生歓迎会で使うサイリウムライト。



舞台制作

課外授業でお手伝いした舞台制作のコンテンツ。ステージの図面に演出に必要なもの、舞台を成功させるための大事なことが書いてあります。現場で働いてみることで、多くのことを学ぶことができました。



高校生まではダンス少女!?

地元が下北沢ということもあって、小さな頃から活発で好奇心旺盛な子でした。小学2年生のときにダンスを始め、TRFのサムさんのダンススクールにも通っていました。中学時代は陸上部だったけど、高校に入ってからダンス部があったのでダンス部に所属し、毎日ダンスとバイトに明け暮れていましたね。将来はダンスを仕事にすることは全く考えられなくて、踊ることは好きなんですけど、友達が振りをつくって、それを学んで仲間と楽しんでいくかっただけなんです。なので、進学するときはもう一つの好きなこと、「絵を描くこと」をやっていたと思います。

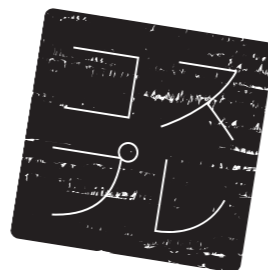
妹が持ってきた宝塚大学の入学資料

絵が描ける環境の大学を探していたときに、一つ下の妹が宝塚大学の入学資料を持ってきたんです。親からも「専門はダメ、行くなら四年生の大学」と言われていたので、これだ!と思えました。今は妹も宝塚大学に在学中です(笑)。イラストレーション領域に入学して学生生活をスタートさせましたが、1年生の後期に、町あかりさんというアーティストとのコラボ企画がゼミであって、それをきっかけにゼミに入ることになりました。先輩たちに囲まれた環境でたくさんコミュニケーションを取っていたら、企画やイベント制作、プロモーションの面白さを知ってしまいコンテンツデザイン領域に領域を変更することにしました。

好奇心旺盛を強みにする

絵を描きたいと思って入学しましたが、絵描きやイラストレーターとして将来生きて行くという気概はそこまでなく課題も追いつかない自分に苛立ちもありました。もう一度、しっかりと自分と向き合っって学んでいくことを決意したときに、コンテンツデザイン領域の渡邊先生が気にかけてくれて。舞台関係の仕事の話などいろいろあって、どんどん興味が湧いてきました。もともとダンスをずっとやっていたこともあって、舞台関係の仕事をしてみたいと思ってきました。

今は学園祭の有志でダンス企画を立てたり、新歓のイベントを企画したり。他領域でもプロジェクトがたくさんあるので、制作や企画などでお手伝いを多くしています。コンテンツデザイン領域は、自分でなにかを始めたいことにも生まれたい領域です。自分がやりたいことを決めて、企画があれば好きなようにできる環境がある。たくさんの人を巻き込んで、面白い現場をどんどん作っていきたくいです。将来は裏方としてイベント運営をしたり、新しいことで人を驚かせるようなことをしたいです。人と触れ合ったり、コミュニケーションを取ることが大好きなので、イベント制作会社やPR会社などで仕事をしてみたいな、と思っています。



友人に勧められて始めたコスプレ。意外にもはまってしまって、いろいろなキャラクターに変身しています!



新宿御苑

「新宿御苑」は、東京都新宿区にあり、約1100本の桜が満開です。



PLACE 翔天亭&楽羽亭



御苑内には2つのお茶室があり、楽羽亭ではお茶とお菓子をいただくこともできます。翔天亭ではお団子やクレープ、お土産などが販売されており、腰をかけるスペースもあるので、買ったものをその場でいただくこともできます。



うまっ
わ! 楽しい~
ピクニックみたい!



PLACE イギリス風景式庭園



イギリスの庭園は、まるで絵画の世界に来たような感じ。季節によって違った景色が見えるので、何回もスクリーンしたいな。

PLACE フランス式整形庭園 (プラタナス並木)

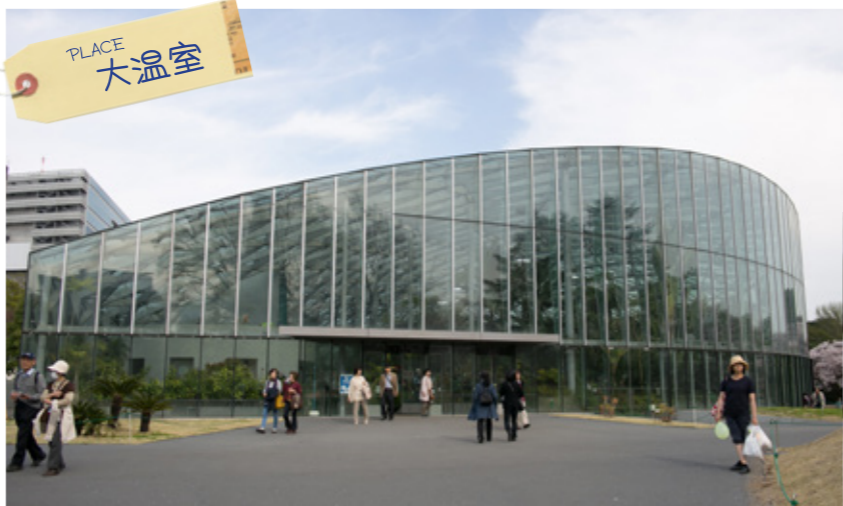
新宿御苑のロケーションは写真撮影にもぴったりです。取材時は約1100本の桜が満開でした。四季折々の姿を写真におさめてみてはいかがでしょうか! イラストレーション領域では新宿御苑で写真撮影する授業もあります。



PLACE 新宿門付近



大温室では東京ではなかなか見ることができないような植物がたくさんありました。果実がなる木も多く見られたのですが、中でも今の時期に実がなっているのが見られたのは、バナナ、パイナップル、カカオでした。温室内では様々なコーナーに分かれていて、沖縄コーナー、小笠原コーナー、熱帯池沼の植物コーナーなどがあり、飽きることなく楽しむことができました。



PLACE 大温室



PLACE 旧御涼亭

都会の真ん中に美しい自然が広がる新宿御苑。私たちニュースレター編集部員が、この時期見所のオススメスポットや観賞の楽しみ方を紹介します!

都会のオアシス、新宿御苑

一言で表現するならば正に都会のオアシス!

本日に日本の中心都市、新宿なのかと疑いたくなるほどの緑豊かな庭園には約1万本の樹木があり、春のこの季節には花見の名所としても知られています。

取材当日は天気もよく、平日にも関わらず園内は花見を楽しむ大勢の人々で賑わっていました。58ヘクタール以上もあるという大変広い庭園のため、今までは訪れても隅々まで見て回るということができなかったのですが、今回の取材では御苑の端から端までを見ることができ、新しい発見もありました。

旧御涼亭をはじめ、楽羽亭、翔天亭、大温室といった充実した施設があるということを知ったのも大きな発見のひとつです。

入園料も大人200円、子供50円という安さで、こんなに楽しめるということを考えてとコストパフォーマンスもばっちりです。

今回の取材はいつもと一風変わった雰囲気でも楽しんで取材することができました。皆さんも都会のオアシス新宿御苑でのんびり癒されに行きませんか。

※酒類持込禁止、遊具類使用禁止

Teachers at Work!

東京メディア芸術学部在籍している先生たちを紹介!
大学での活動のほか、外部でのお仕事が多いのが本学の特徴でもあります。



たじまゆうし
田島悠史 講師

Profile

東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了後、慶應義塾大学大学院にて小規模地域アートイベントの研究を行い、博士号を取得。現在は、日本各地で、アートイベントのプロデュースからメディアアート作品の展示まで、さまざまな案件を手がける。

映像領域で学生たちに新しい映像表現のことや、メディア社会学、イベントの運営制作などを教えています。メディア社会学では地域連携入門として、インタビューの簡単な基礎を学び、それに基づいた映像作品をつくることもしています。具体的には新宿区の中井で行われている企画に参加したり、グループでメディアアート作品をつくってコンペに参加したりしています。

現在、映像といっても表現の幅はすごく広がっています。ぼくが教えているのは映画やCM、プロモーションではない、新しい映像表現をやっています。プロジェクトや新しいデバイス(機種)をつかってどういう表現をしていくか、それがメディアアートのだと思っています。今の映像業界と、将来の業界はいろいろ変わってくると思っています。本当に簡単な映像制作だったら誰でもできる時代になってきましたし、今後はウェブなども混在していくと思うんです。その中で、普通の人にはつくれないものをつくる意識で作っていくことが、今後クリエイターとして大切な気がしています。そのためには、学生にたくさんの制作現場や映像制作を見せてあげることが大切で、それが将来アイデアの種になると信じていますし、いろいろなものを受け入れられる土壌になると思っています。

大学では同じような趣味を持った人が集まっていますが、社会は「異なる人たち」の集合体です。自分の考えと他者の考えをしっかりと受け入れて、コミュニケーションをとっていかないと新しい表現は生まれません。他者を受け入れて、一緒にいかものを作る作家、クリエイターになってほしいと願っています。新宿はとくに刺激の多い街ですから、日常の中にもたくさん表現が埋もれています。人も街もよく「観察」することで、制作のアイデアが生まれ、そのアイデアをどんどん学生同士でも共有してほしいですね。



会場=BankART Studio NYK (横浜)
通常は展覧会・イベント会場のBankART Studio NYKがクリエイターの制作スタジオとして変身。全国から集まったアーティストの生いきとした制作現場が見れる。今回田島先生も制作で週一で滞在している。
■ オープンスタジオ 5月27日[金]～ 6月5日[日]



宝塚大学東京メディア芸術学部の研究員として在籍している伊藤由貴さん。



今回の制作では映像領域、コンテンツデザイン領域の学生が10人ほど参加している。日常にある風景を動画で撮影して、伊藤さんのドローイングの素材になっている。

BankART Artist in Residence 2016

伊藤由貴×野本直輝×
宝塚大学田島悠史研究室。
メディアによって記録された日常は、人々が向かい合う過程で、見落とされていた日常の美しさに光が当たることがあります。日常を素材として作られた映像作家による滞在制作と制作展示をその中心に据えています。作家は日常を撮り、会場にて制作、展示、交流することを通して、次の日常を作っていきます。



外部
の
仕事

作品名『developments』

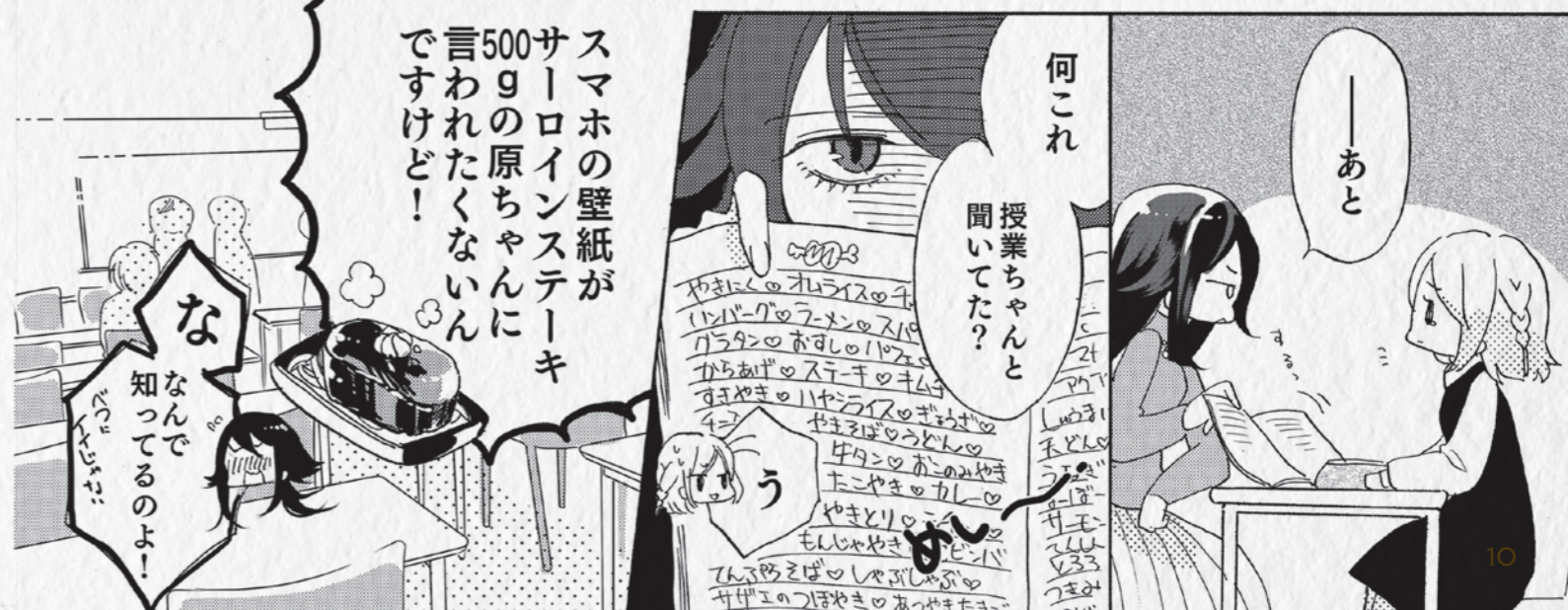
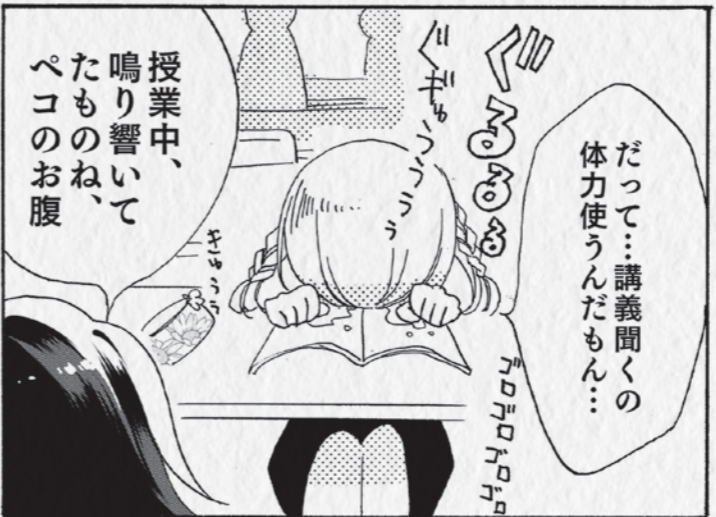
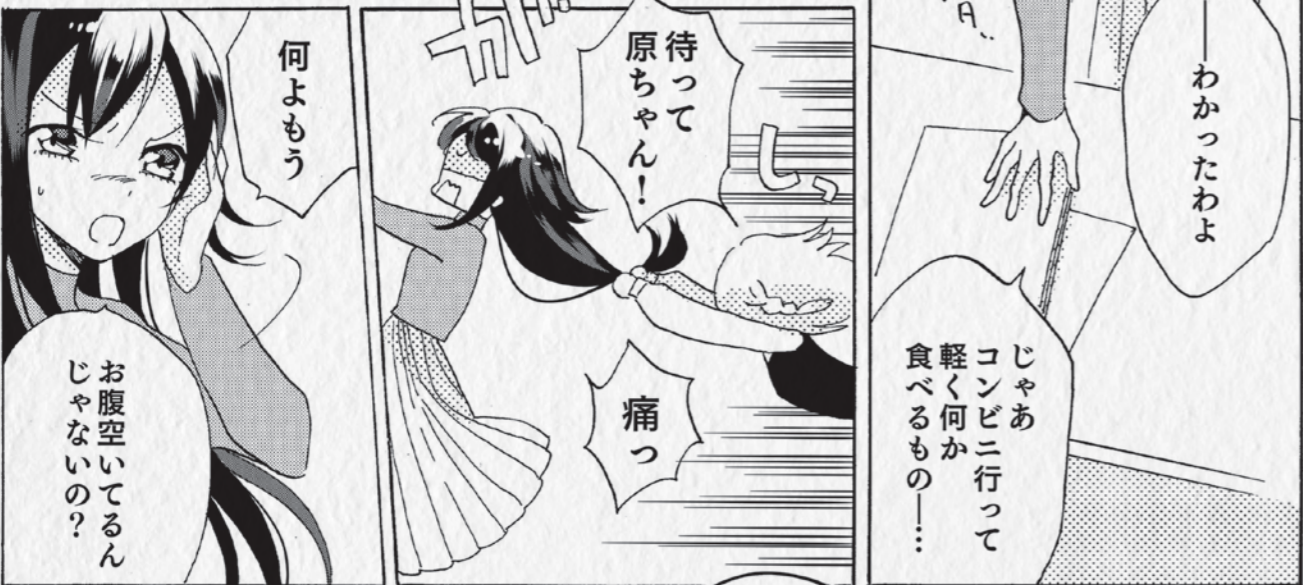
昼間に新宿区中井を訪れる人の顔を取得し、夜に駅前の老舗写真店に投影する作品。2015年8月に、自らが企画したアートイベント「プライベートパブリッシング」内にて展示をした。

はらぺこ 新宿食の道楽

第一話
作画 あゆ丸

漫画領域2年
松坂 礼
(ペコ)

イラスト領域2年
原 さより
(原ちゃん)



★原ペコが新宿の美味しいお店を紹介します!

『採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳』 中路真紀講師の新刊書籍、絶賛発売中!

「ポートフォリオ制作実習」講師である中路真紀の著書(共著)「採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳」が2月に発刊、好評発売中です。同書では「そもそも、ポートフォリオはなんのために作るのか」といった基礎や、志望する分野・職種・応募者の個性をわかりやすく伝えるための具体的な方法も解説。クリエイティブ業界向けの就職ノウハウや、入社後のキャリアデザインまで網羅しています。さらにクリエイティブ業界各社に採用された新卒のポートフォリオを中心に、実例50点を詳細な解説付きで紹介しています。



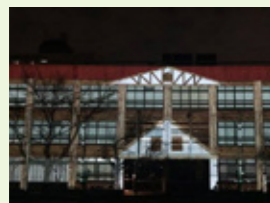
『第2回なるほど!東京水!作品コンクール』入賞作品発表会に マンガ領域、竹内一郎教授が四コマ漫画部門の審査員として参加

3月5日に開催された「東京水」をもっと知ってもらうためのコンクール『第2回 なるほど!東京水!作品コンクール』の入賞作品発表会。同コンクールでは、四コマ漫画部門の審査を、竹内一郎教授の他、市野治美専任講師、上原愛弓助手が担当。四コマ漫画部門には応募総数245作品が集まり、最優秀賞1作品、優秀賞4作品の計5作品が選ばれました。当日は竹内教授のほかにも、特別審査員の草野仁氏も出席。発表会では入賞作品の紹介とトークショーも行われました。



地域連携事業として、プロジェクションマッピング イベントを区内小学校にて実施。

専任講師の田島悠史(映像領域)がプロデュースし、准教授の渡邊哲意(コンテンツデザイン領域)がディレクションした「プロジェクションマッピング&コンサート」が3月5日開催されました。このコンサートは、新宿区落合第二小学校開校90周年を記念したもので、落合第二小学校からの卒業生の門出を、映像と音楽の共演でお祝いしました。



HOT TOPICS

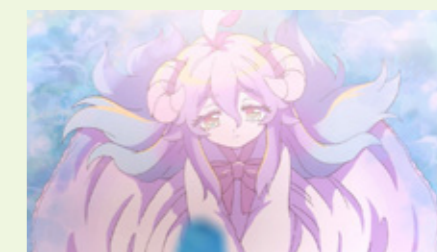
マンガ領域公式オリジナル漫画雑誌 「NEO」第7号を発刊

「NEO」はマンガ領域を中心とした学生たちが毎年自主制作するオリジナル漫画雑誌で、作品の募集、選抜、編集といった一連の雑誌製作を学生自らが行っているのが特徴です。掲載作品は、メディア芸術学部大賞を受賞した「Little Red」の他、TVアニメーション「ジョジョの奇妙な冒険」シリーズの作画監督などで知られる芦谷耕平専任講師へのインタビューなど企画ページも満載。「NEO」はバックナンバーも含め、オープンキャンパスで無料配布しています。



アニメーション領域がAnimeJapan2016に出展。 卒業生製作作品をメインに展示

3月26日(土)・27日(日)に東京ビックサイトで開催された日本最大級のアニメイベントAnimeJapan2016にアニメーション領域が出展。卒業生製作作品をメインに、学生作品を展示しました。卒業制作展でも展示され、好評を博したアニメーション領域(指導/古瀬登准教授、芦谷耕平専任講師、月岡貞夫特任教授)の卒業制作作品、『睡魔』(製作/荒澤光子、久米沙綾、泰田楓)・『追憶』(製作/張少偉)などのモニタ上映をはじめ、2・3年生による「歌のアニメーション」の上映、個人・グループ製作作品のイメージボードや原画、背景などの素材を展示しました。例年、本イベントへの出展では学生の外部発表の場となり、業界やユーザーとの架け橋となっています。





エレベーターホールを大幅改装!

東京メディア芸術学部キャンパスビルを4月に改装しました!
今回はエレベーターホールの改装について改装を主導した渡邊准教授に話を聞きました。

渡邊哲意先生インタビュー

エレベーターホールの改装のきっかけは何ですか?

昨年度のデザイン概論のインテリアデザインについての講義内で、大学のインテリアデザインについて改善点はあるかという質問をしたところ、「美術系の大学なのに色味がなくクリエイティブ感がない。」
「大学なのにオフィスっぽい。」などの声がありました。それがきっかけで学生の声を反映し、もっと活気がでるようなデザインにする改装を決めました。
なぜ、改装する場所をエレベーターホールにしたのかというと、皆がよく使う場所でもあるため、学生が今までの違いに気づくことができるからです。

改装のこだわりは何ですか?

フロア毎に色分けをして特徴をつけました。使用した色は基本的に学内にあった色で、それぞれのフロアのドアなどに使われた色をもとにしています。10階から6階までは教室や研究室の扉に使われている色をもとに、それぞれグレー、黄色、黄緑、ピンク、青を選んでいきます。5階から2階までは学内の備品の色、もしくは新規の色を選んでいきます。備品の色は教室で使用している椅子の色でオレンジと水色。新規の色は紫と赤で、イベントなどで使用されることが多い2階は気持ちが盛り上がるように赤を選んでいきます。



渡邊准教授お気に入りの7階のピンクのエレベーターホールです。

どの階の色が好きですか?

7階のピンクです。派手な色が好きというのがありますが、事務室にピンクはチャレンジャーだなと自分でも思いました。ピンクといっても図書館にあるデザインチェアに使われている落ち着いたピンクを選んでいきます。

改装後の周囲の反応はどうですか?

学生たちも改装に気がつき、色が変わっていることに喜んでいました。4階の改装も完成に近づいているので、学生のやる気を向上させるためにも、よりよい環境作りをしていきたいと思っています。



5月のオープンキャンパス

日程: 5月5日(祝)、5月29日(日)

時間: 13:00~16:00

場所: 宝塚大学 新宿キャンパス

[グループ展] 「ニンフェットの森~乙女の聖域」展(高田美苗講師参加)

日程: 5月6日(金)~14日(土) 日曜日のみ休廊

時間: 13:00~19:00(最終日18:00まで)

場所: ギャラリー オル・テール



[グループ展] 「5月の回廊展」(高田美苗講師参加)

日程: 5月20日(金)~28日(土) 日曜・月曜休廊

時間: 13:00~19:00

場所: ギャラリー ヘルンアート(大阪)



編集後記

春が訪れ少しづつ初夏の清々しい季節になってきましたね。エレベーターホールの改装が終わりほとんど大学も進化しています。4階も改装が4月末に完成するというところで今から待ち遠しいですね!改装は色だけではなく、細かい所が沢山変わるのでどこが改装されよくなったのか探してみても楽しいと思います。今回の新宿企画は新宿御苑の取材でした!天気は晴天、桜も満開で取材と共に花見も満喫してしまいました。気持ちが落ち込んでしまった時、気分転換がしたい時など、新宿御苑に行くことをお勧めします!そしてニュースレター今年度の表紙テーマは『童話』です。来月号もお楽しみに!



NEWS LETTER 編集部

Editor	金澤英樹(本学職員)	Assistant Designer	大泉夏紀(3年)
	ミネシゴ(フリーライター)		木村奈央(3年)
Art Director	渡邊哲意(本学准教授)	マンガ	あゆ丸(大学院1年)
	芦谷耕平(本学講師)	表紙イラスト	藤代実咲(大学院2年)
	小野寺真央(大学院2年)	今月の表紙のテーマ	「ジャックと豆の木」
Designer	松原麻友(3年)		
	石原亜矢子(3年)		

